【取組内容①】「他者の考えをもとにした「構造化」の取り組み」

授業の流れ

- 課題の提示
- はじめの考えを入力
- 友だちの考えをもとに意見を構造化して分析
- 構造化された考えをもと に自分の考えを更新

ある村では赤字を理由に路線バスの廃止を検討している。賛成の意見もあるが、反対意見も多数ある。 あなたは、この件を担当することになった。 ①担当者となったあなたは、解決に向けてどんな工夫をしようと考 ②担当者となったあなたは、最終的に解決に向けてどんな工夫をし 名簿番号 えますか? ますか (例) まずはじめにOOして…、(中略)、そして最後は△△して解決す ※左のように順序立てて入力しましょう。 氏名 まず村民にアンケートを取って、賛成意見と反対意見を出してもらう∍その意見を元に賛成派の人 反対派の人で解決策や代替案を考える(賛成派 赤字で運行が難しい→運行料金を値上げしたり、運 行本数を減らすなどニーズのない区間ははぶいて節約する 反対派 移動するのに路線バスは必要 賛成意見と反対意見がわからないので改善点が分からないので、まずは村民にアンケートを取って、 →路線バスを小型化して燃費を良くしたり、路線バスでなくてもハイエースなど、移動ができるもの 賛成意見と反対意見がなにか明確化をして、その意見を元に解決していく。具体的には賛成派と反対 派の代表者が集まり、お互いの主張を聞いたり代替案を考えたりして、全員が納得するような結論を を手配する) ⇒お互いの意見に納得したらそれを一度試し、まだなにか意見があったら話し合い、試 出して解決する して全員が納得する結論を出す まずは、廃線を考える前に本数を減らしたり、料金設定を見直したり、走らせない日を設けるなどの 試みを行いどのくらいの人が乗ったかを調査しまとめる。そして、賛成派、反対派の人々を集めて 話し合いの場を設けて、そこで解決につながるような意見が出ればその案を改良したりして 運営をつつければ良いし、もしそこで解決につながるような意見が出なかった場合には廃線にし 人数に応じてバスを小型化し経営費を少しでも抑えるようにする。反対意見はどこをどうすれば 利用者などに説明をする。 良いのかを聞き取り入れ改善策を提示しバスを残すことに賛成してもらう。 まずは賛成派、反対派みんなの意見を聞き、話し合いにより出てきた解決策を試してみてもう一度、 まずは賛成派、反対派の意見を聞いて話し合う。 アンケートを取り、賛成が多かった場合は廃止、反対が多かった場合は運行数を減らしたり、 人が少ないところは廃止したり、運行数などを減らしたりしてできるだけ赤字を抑える。 料金を高くしたりして、できるだけ赤字を抑えて運行を行う。 最初にアンケートをとり全員が賛成だったら廃止、反対意見の人がいた場合は「運行数や運行日を減 らす」「料金を高くする」「利用者が多い地域でのみ運行」などの策を1ヶ月間くらいす。試した結 反対意見を聞いてから村の中で人通りが多い場所を走るようにし、本数を減らして一回に乗る乗客を 果を村の人に説明し、再度アンケートをとる。その結果賛成が多かった場合⇒廃止、反対が多かった 増やして赤字を少しでも抑える。 まず運行本数を減らしてみて赤字が解決すれば、そのまま実行し、解決しなければバスを運行するか 村の人達に話を聞いて、バスの本数を減らすなどの工夫をする。試しで運行してそれでも赤字が出る しないかアンケートを村の人達にする。それで、運行するという意見が多ければどうすれば赤字にな らなくてすむかをアンケートで募集する。募集したものからいい案があればそれを採用する。それで ようなら村の人に案をだしてもらう。いい案があればそれを提案して村の人が全員納得できるような 解決しなければ料金の値上げをして運行する。

友だちの考えをもとに様々な 意見を構造化





自分の考えに反映





